

第 116 期 業務のご報告

2024年4月1日～2025年3月31日

The Choshi Shinkin Bank



理事長 森山 博志

平素の当金庫への変わらぬご愛顧とご支援に、心より厚くお礼申し上げます。

日本経済は、緩和的な金融環境のもと、雇用・所得環境は改善し、全体としては緩やかな回復基調にある一方で、国際的な政治・経済情勢が景気の下押し圧力となり得るなど、不確実性の高い状況となっております。

また、当金庫の主要なお取引先である中小企業においては、原材料価格の高止まりや賃金水準の上昇等に加え、人口減少・少子高齢化を背景とした慢性的な人手不足、さらにはデジタル化の進展や気候変動問題への対応など、経営課題がますます多様化・複雑化している状況にあります。

このようななか、当金庫では中期経営計画「Shinking 2030 セカンド」（2024年度～2026年度）において、重点事項として以下の3点に取り組むこととしております。

○お客さまとの接点を増やす：課題解決サポートに注力するため、金庫全体で業務の最適化を行い、お客さまとの接点を増やします

○お客さまにより良い提案を行えるようにする：職員の専門性を高め、多様化するお客さまのニーズにきめ細かく対応できるようにします

○全職員が幸せにいきいきと働けるようにする：職員の成長と幸せの実現のため、やりがいを持って気持ちよく働ける風通しの良い組織にします

外部環境が急激に変化する状況下において、多様化・複雑化するお客さまのニーズや課題に当金庫がお応えしていくためには、表面的な支援にとどまらず、より深度ある支援を実践できるよう態勢整備に努めていくことが必要であると考えております。

当金庫では営業活動上の指針として「しんきんのココロエ」を施行し、その一部に、「自分のことのようにお客さまのことを知ろう」、「お客さまにとって何が最良なのかを深く考えて行動しよう」を掲げ営業活動を行っております。

「Shinking 2030 セカンド」で掲げる重点事項に取り組むことにより、「しんきんのココロエ」に基づいた営業活動の質をさらに高め、地域金融機関である信用金庫としての役割を果たしてまいります。

2025年度も先行き不透明な状況が続くものと予想されますが、地域の皆さまのご期待にお応えできるよう、最も身近な「ファーストアドバイザー」を目指して役職員一同全力を尽くしてまいりますので、今後とも一層のご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2025年6月吉日

当金庫の概要

2025年3月末現在

創 業

1910年（明治43年）7月

出 資 金

9,870百万円

会 員 数

30,285名

本 店

千葉県銚子市双葉町5番地の5

店 舗 数

28店舗（千葉県内24店・茨城県内4店）

役職員数

385名

預 金

5,175億円

貸 出 金

1,672億円

自己資本比率

12.57%



銚子信用金庫業務地区

千葉県 銚子市、旭市、匝瑳市、茂原市、勝浦市、千葉市、東金市、成田市、市原市、香取市、習志野市、八千代市、船橋市、木更津市、市川市、袖ヶ浦市、白井市、四街道市、佐倉市、八街市、鴨川市、印西市、富里市、いすみ市、山武市、大網白里市、山武郡、長生郡、夷隅郡、香取郡、印旛郡

茨城県 神栖市、鹿嶋市、潮来市、行方市、鉾田市

経営理念

地域の最良のパートナーとして、常に地域と共に歩む。

柔軟で創造性の高い組織力を発揮し、地域金融機関としての使命を全うする。

秀れた人材を育成し、豊かで活力あふれる未来を創造する。

ビジョン

地域のニーズに応え、最良のサービスを迅速に提供する。

地域社会の豊かな発展を実現するトータルアドバイザーとして信頼度No.1を目指す。

揺るぎない経営基盤を確立し、信用金庫としての社会的使命を遂行する。

環境の変化に応じて自己革新できる柔軟な組織を目指す。

将来を見据えた人事政策、能力主義人事の徹底により秀れた職員を育成する。

自由闊達で想像力と活力にあふれた働きがいのある信用金庫を目指す。

行動指針

私たちは地域社会の一員として誇りをもって行動します。

私たちは積極かつ迅速に行動します。

私たちは何事にも信念をもって行動します。

私たちは明るい笑顔、感謝の心をもって行動します。

私たちはより高い目標に向かって行動します。

経営方針

2024年4月にスタートさせた新三か年計画「Shinking2030 セカンド」では、前三か年計画「Shinking2030」を踏襲し、新たに見直した3つの具体的な重点事項を掲げて、トライアル&ラーンを繰り返しながら、目指す姿に近づいていくこととしています。

“ちょうししんきんならではの”の活動をとことん追求し、お客さま・地域の課題解決に貢献しながら、地域との持続的な発展を目指してまいります。

Shinking 2030 セカンド

目指す姿

課題解決サポート体制を“ちょうししんきんならではの”の課題解決プラットフォームへと進化させ、最も身近な「ファーストアドバイザー」として、お客さま・地域の課題解決に貢献し、圧倒的な信頼を獲得する。

どのような状況にあっても前向きにトライアル&ラーンを繰り返し、知恵を集め共有しながら、絶えず柔軟に変化し続ける創造性の高い組織になる。

「人材を育む力」を“ちょうししんきんの強み”にまで高め、職員一人ひとりが自ら学び、成長し、お互いに助け合いながら、地域のみなさまと共に、豊かで活力あふれる地域社会を創る。

重点事項

お客さまとの接点を増やす

課題解決サポートに注力するため
金庫全体で業務の最適化を行いお客さまとの接点を増やします

お客さまにより良い提案を行えるようにする

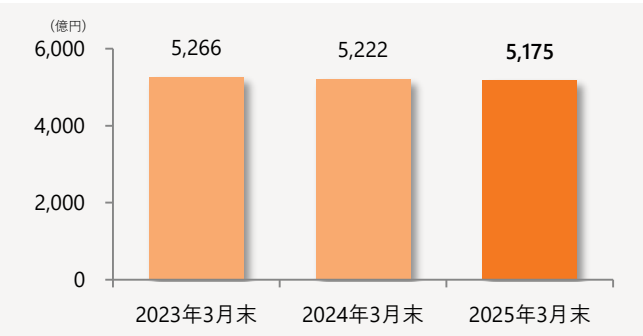
職員の専門性を高め
多様化するお客さまのニーズにきめ細かく対応できるようにします

全職員が幸せにいきいきと働けるようにする

職員の成長と幸せの実現のため
やりがいを持って気持ちよく働ける風通しの良い組織にします

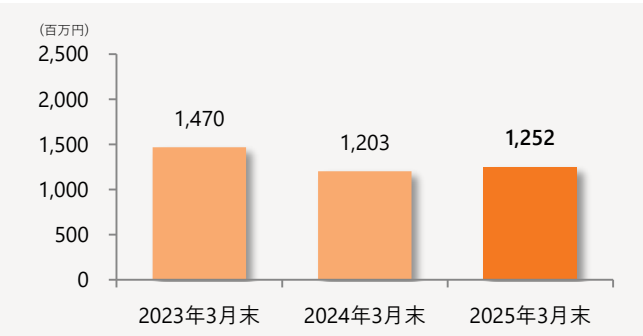
預金積金

預金積金は、定期性預金の減少等により、前期比46億円減少の5,175億円となりました。



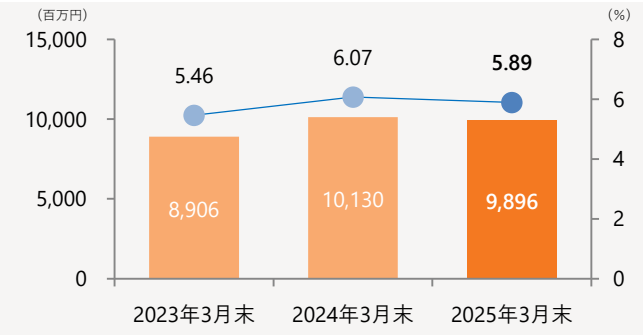
当期純利益

資金運用収益および役務取引等収益の増加等により、当期純利益は前期比49百万円増加の1,252百万円となりました。



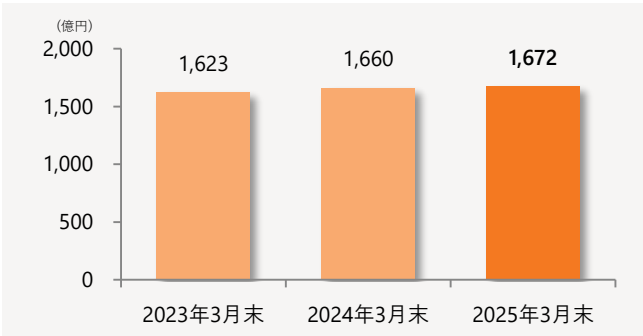
不良債権

毎期年度当初に策定する不良債権処理計画に基づいて処理を進めるとともに、事業再生や経営改善等の支援にも積極的に取り組んでいます。不良債権額は前期比234百万円減少の9,896百万円となりました。また、不良債権額の減少により、不良債権比率は0.18ポイント低下の5.89%となりました。



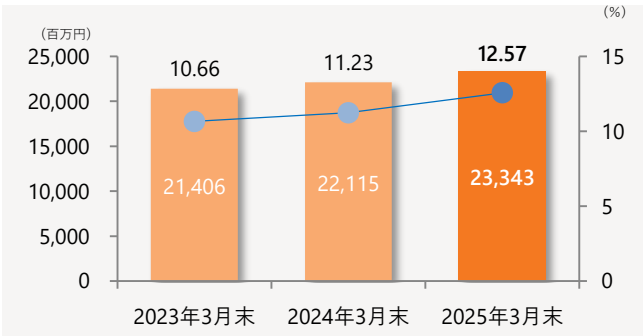
貸出金

貸出金は、課題解決に着目したご融資のご提案に加え、各種個人向けローンのご提供、地公体等向け融資の推進などにより、前期比11億円増加の1,672億円となりました。



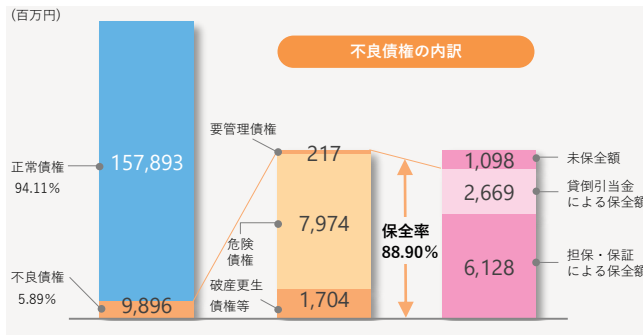
自己資本

利益の外部流出を抑制して内部留保の積み上げを行い、自己資本の充実を図っております。その結果、自己資本額は1,227百万円増加し、自己資本比率は前期比1.34ポイント上昇の12.57%となりました。



金融再生法開示債権

不良債権はすべてが損失につながるわけではなく、担保・保証および貸倒引当金により88.90%がカバーされています。また、保全されていない金額（約11億円）についても、自己資本によりカバーされており、不良債権が経営に与える影響は極めて小さいものとなっています。



第116期 剰余金処分計算書

2024年4月1日から
2025年3月31日まで／単位：円

科 目	金 額
当 期 未 処 分 剰 余 金	3,384,879,272
剰 余 金 処 分 額	195,898,865
利益準備金	126,000,000
普通出資に対する配当金（年1.0％）	23,698,865
優先出資に対する配当金（年0.7％）	46,200,000
特別積立金	-
（優先出資消却積立金）	（-）
繰 越 金 （ 当 期 末 残 高 ）	3,188,980,407

以上のとおりご報告いたします。

2025年6月17日

銚子信用金庫

理 事 長	森 山 博 志	理 事	伊 藤 浩 一（※1）
専務理事	高 木 一 郎（※1）	理 事	大 里 忠 弘（※1）
常務理事	飯 島 良 春	理 事	川 嶋 義 夫（※1）
常務理事	高 橋 豊	理 事	阿 部 典 義（※1）
理 事	越 川 晴 行	理 事	木 村 栄 宏（※1）

以上の各項を調査し、その正確なことを認めます。

監 事	田 向 一 男
監 事	木 村 豊（※2）
監 事	近 藤 典 子（※2）

（※1）の専務理事および理事は、信用金庫業界の「総代会の機能向上策等に関する業界申し合わせ」に基づく職員外理事です。

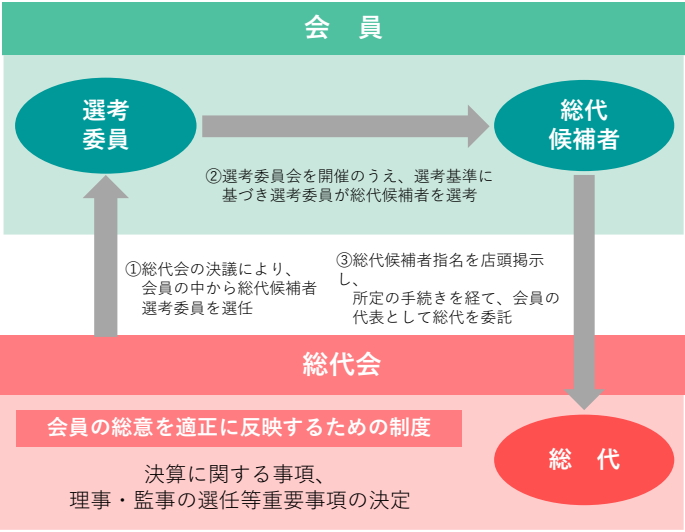
（※2）の監事は、信用金庫法第32条第5項に定める員外監事です。

総代会制度

信用金庫は会員一人ひとりの意見を尊重し経営に反映させる協同組織の金融機関です。

当金庫では、会員の意見を適正に反映し充実した審議を確保するため、会員の中から選任された総代により運営される総代会制度を採用しています。

総代会は、会員一人ひとりの意見を
適正に反映するための開かれた制度です。



出資に関するお知らせ

- 出資とは**

出資は株式会社の株式に相当するものですが、性質は全く異なります。株式のような流動性はなく、自由に売買できるものではありません。また、預金とは違い、すぐに払い戻しする事もできず、預金保険制度の対象ではありません。
- 配当金について**

出資に対する配当（率）は、事業年度内の業績や収益状況等により変動し、事業年度終了後に開催する総代会の決議により決定されます。当年度の配当金の詳細ならびにお受取方法につきましては、「出資金残高通知書兼出資配当金振込のご案内（兼領収書）」をご確認ください。
- 出資の譲渡（脱退）について**

会員は、いつでも出資金を譲渡して脱退することができます。ただし、ご融資をご利用いただいている間は原則として脱退することができません。出資金を譲渡（換金）する場合は、原則として他の加入者（譲受人）へ譲渡する手続きを行い換金します。譲受人がいない場合は当金庫が譲り受けることとなり、換金には、お申込みから最長1年6か月かかる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 当金庫の業務地区外に転居なされた方へ**

会員たる資格を満たさなくなってしまうため、法定脱退の手続きをとっていただくことになります。詳しい手続きについては、最寄りの当金庫本支店窓口までお問合せください。

ちょうしんきんSDGs宣言

ちょうしんきんは、経営理念に掲げる「地域の最良のパートナーとして、常に地域とともに歩む」を活動の根源に据え、地域の課題は当金庫の課題であるとの認識のもと、その課題解決に積極的に取り組み、地域の持続的な発展に貢献してまいります。

SDGs重点事項に関する主な取り組み状況

ちょうしんきん若志の会

次世代経営者の方々のための「出会い」と「学び」の経営支援組織「ちょうしんきん若志の会」を発足しました。7月には発足式を開催し、約90名の会員さまにご参加いただきました。



地域経済の
持続的な発展

ウレシイくらしのセミナー

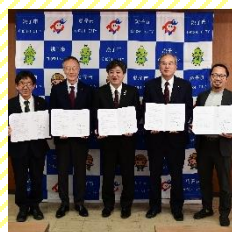
「認知症の正しい知識と予防と備え」をテーマに「ウレシイくらしのセミナー」を銚子、東金、夷隅の3会場で開催しました。当日は103名の方にご参加いただきました。



豊かな
地域社会の実現

脱炭素支援

「食の脱炭素シフトによる創業・事業承継を通じたグリーン社会の実現に向けた連携協定」を銚子市、銚子商工会議所、銚子商工信用組合、銚子電力株式会社と締結しました。



地域環境の
保 全

SDGs推進チーム

入庫2年目の職員で構成された“SDGs推進チーム”を中心に、「銚子みなとまつり花火大会観覧企画」や「こどもの未来古本募金」、「ちょうしんきんフードドライブ」などを実施しました。



ガバナンスの
強 化

SDGsとは、

「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称です。2015年9月に国連サミットにおいて全会一致で採択された2030年までの国際目標で、「誰一人取り残さない」を基本理念とし、持続可能で多様性と包摂性（社会のすべての人に配慮を払うこと）のある社会の実現を目指すものです。

「すべての人に健康と福祉を」や「住み続けられるまちづくりを」など持続可能な世界を実現するための17のゴールと、それらのゴールごとに設定された169のターゲット（個別目標）で構成されています。



2024年	
4月	2024年度入庫式（新入職員17名）
	第34回「若手社員研修会」開催
6月	第115期「通常総代会」開催
7月	「ちょうししんきん若志の会」発足
	第34回「若手社員研修会フォローアップ研修」開催
8月	銚子みなとまつり花火大会観覧企画の実施
	「こどものみらい古本募金」に参加（8～9月）
9月	銚子市内の全小学校（11校）で「金融教育出前授業を実施」（9～10月）
10月	「ウレシイくらしのセミナー（認知症予防セミナー）」開催 （第13回:銚子会場、第14回:夷隅会場）
	「2024 しんきん食の商談会 in CHIBA」開催
11月	「ウレシイくらしのセミナー（認知症予防セミナー）」開催 （第15回:東金会場）
	第7回「旭ウレシイ食の商談会」開催
	定期預金キャンペーンを実施（11月～翌年1月）
2025年	
1月	銚子特別支援学校で「金融教育出前授業」を実施
	「ちょうししんきん若志の会 新春セミナー・交流会」開催
2月	ちょうししんきんフードドライブを実施
3月	銚子市、銚子商工会議所、銚子商工信用組合、銚子電力と「食の脱炭素シフトによる創業・事業承継を通じたグリーン社会の実現に向けた連携協定」を締結